

後期高齢者医療制度に対する基本的な考え方

社団法人 日本歯科医師会

1. 本制度への歯科医療の役割と使命

1) 健康寿命の延伸

後期高齢者の心身の特性（資料1）を踏まえ、また、国民の一人一人の立場になって、本医療制度を考えたとき、その目的は健康寿命の延伸であると考ええる。

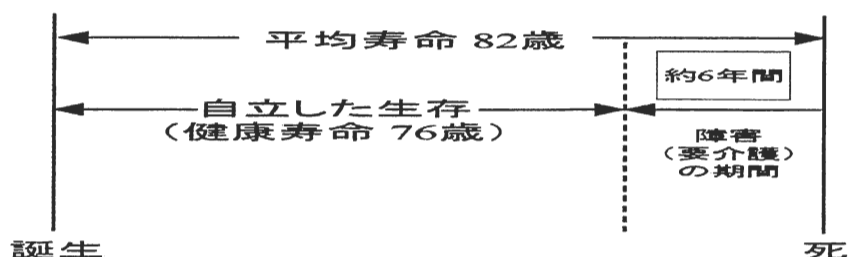
日本の平均寿命は男女平均で82歳であるが、健康寿命は76歳である。平均して最後の約6年間は病床または要介護の生活を強いられている。

この健康寿命を平均寿命に近づけることが本制度の基本的な使命と考える。

* 健康寿命を平均寿命まで

健康寿命を平均寿命まで

活動的で自立した状態（心身ともに）で生存できる期間



そのための歯科医療の役割

歯科医療は健康寿命の延伸のために、高齢者の口腔機能を回復させ、さらに、その維持のために継続的な口腔管理を進めて、8020達成者を増加させる。

その結果として、生活のQOLおよびADLも向上し、社会的行動が積極化する（資料2）。さらに、全身の健康の維持増進に貢献し、その結果の一つとして、医療費の減少が見られる（資料3）。

* 8020達成で一人でも多くの元気な高齢者を （噛むことは健康の源）

2) 有病者・要介護者の生活を守る

入院中の患者や要介護者の口腔内は極めて悲惨な状況となる危険がある（資料4）。すなわち、口腔清掃の不全による衛生状態の悪化は、う蝕の多発、歯周病の進行を早め、歯の喪失、咀嚼力の低下のみならず、口腔機能全体の低下を引き起こす。

その結果、栄養摂取の低下によって低栄養状態となり、全身に影響を及ぼすこととなる。（資料5）さらに、不潔な状況と嚥下機能の低下と相俟って、誤嚥性肺炎を高い確率で引き起こす危険がある。（資料6）

生活面から見ると、発音機能の低下により会話の楽しみを失い、さらに、咀嚼嚥下機能の低下により、楽しく美味しく食べるという最高のQOLを失うこととなる。

これを防ぐために、入院、入所、また居宅の高齢者に対する歯科の役割は重大で、かつ不可欠のものとする。

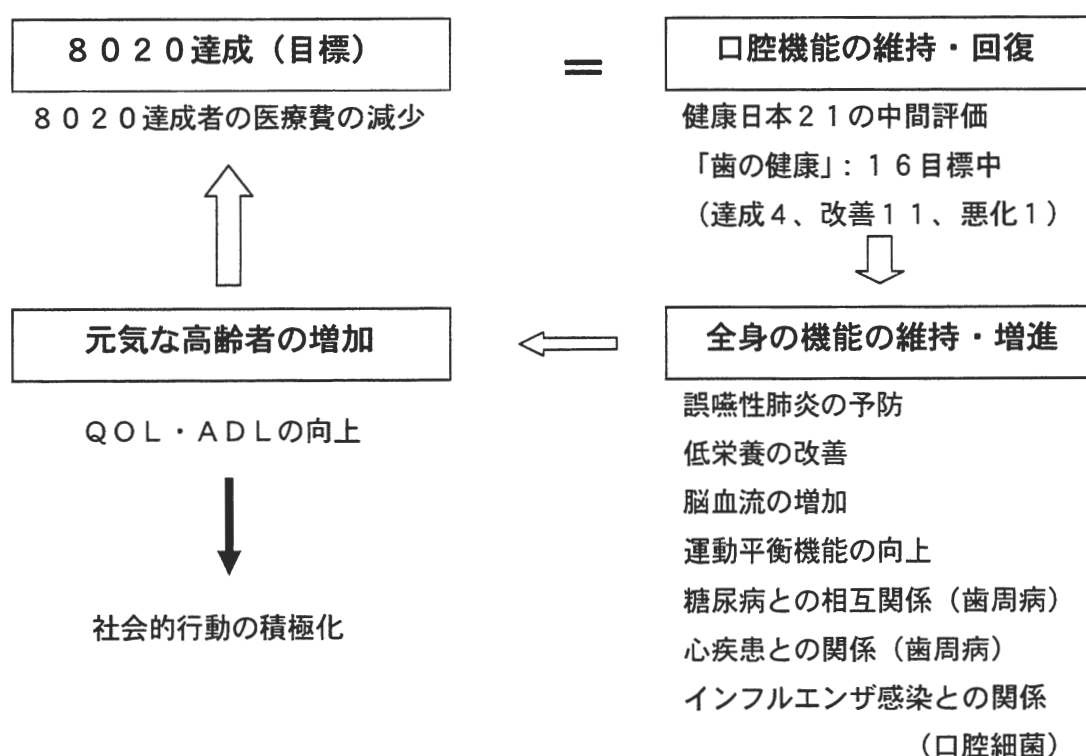
* 口腔管理と食の維持で生活の質を守り向上させる

3) 看取りの歯科医療の確立（ターミナル・デンティストリー）

「食」は人間としての尊厳を守るための大切な営みであり、歯科は最後までこれを支える。

* 「昨日食べたものが美味しかった」と言って逝かれるために

歯科医療の役割と使命



2. 本制度における歯科医療の課題

1) 口腔機能の維持・回復のための診療行為の評価

口腔の状態が75歳から急に変化することではないので、成人期からの制度の連続性が不可欠である。

特に、歯周病治療、口腔機能維持のための専門家による口腔管理（口腔ケア）（資料7）の評価が必要である。

さらに、機能回復と維持のためのリハビリテーションの評価が求められる。

2) 高齢者の歯科受診率の向上

高齢者になるほど歯科受診率が減少する（資料8）。また、高齢化率の伸びほど歯科医療費は増えていない（資料9）。

本制度の目的達成のためには、高齢者への教育的アプローチ（口腔機能の大切さを伝える）が必要であり、さらに、受診率を向上させるために健診により受診の必要性の理解を深めることが必要である。

また、リスクの増加する高齢者への手厚い医療提供とその評価が必要である。

* 75歳節目健診「後期高齢者口腔診断」

3) 歯科訪問診療の拡充

診療報酬制度に新たな歯科訪問診療のための対応策が必要である。

専門家による口腔管理（口腔ケア）の評価が全て高齢者に必要であるが、特に要介護者に対しては強く求められる。

4) 診療報酬体系の基本的な在り方

診療報酬体系の具体的な内容についての基本的な在り方について述べる。

- ① 新たな制度が現行制度との連続性を欠いてはならない。
- ② 歯科医療は細かな技術の積み重ねであり、基本的に出来高払いを堅持する。
- ③ 訪問歯科診療推進のために、かかりつけ歯科医機能を支える「地域歯科医療センター」、並びに関連する医療、介護等との連携複合体としての地域連携センターを確立し、これを評価する。
- ④ 現制度の利点（フリーアクセス等）を守り、それらを阻害しかねない制度（人頭割り等）には反対する。

後期高齢者の心身の特徴

1. 全身の特徴

1) 生理的機能の低下（生活機能の低下）

運動能力、反射、抵抗力（免疫機能）の低下

2) 精神機能の低下（認知・理解能力の低下）

認知症状、うつ症状、情緒不安定、忍耐力の低下

3) 全身疾患の増加

循環器系疾患（高血圧・心疾患・脳血管疾患）・糖尿病等の代謝系疾患

呼吸器系疾患、多剤服薬

2. 口腔の特徴

1) 口腔機能の低下

咀嚼嚥下機能の低下、発声障害、表情発現の減退

唾液分泌の低下——口腔乾燥症

2) 口腔環境の悪化

口腔清掃状態の劣化——口腔疾患の進行、誤嚥性肺炎の誘発、口臭
顎堤吸収

3) 口腔疾患の進行

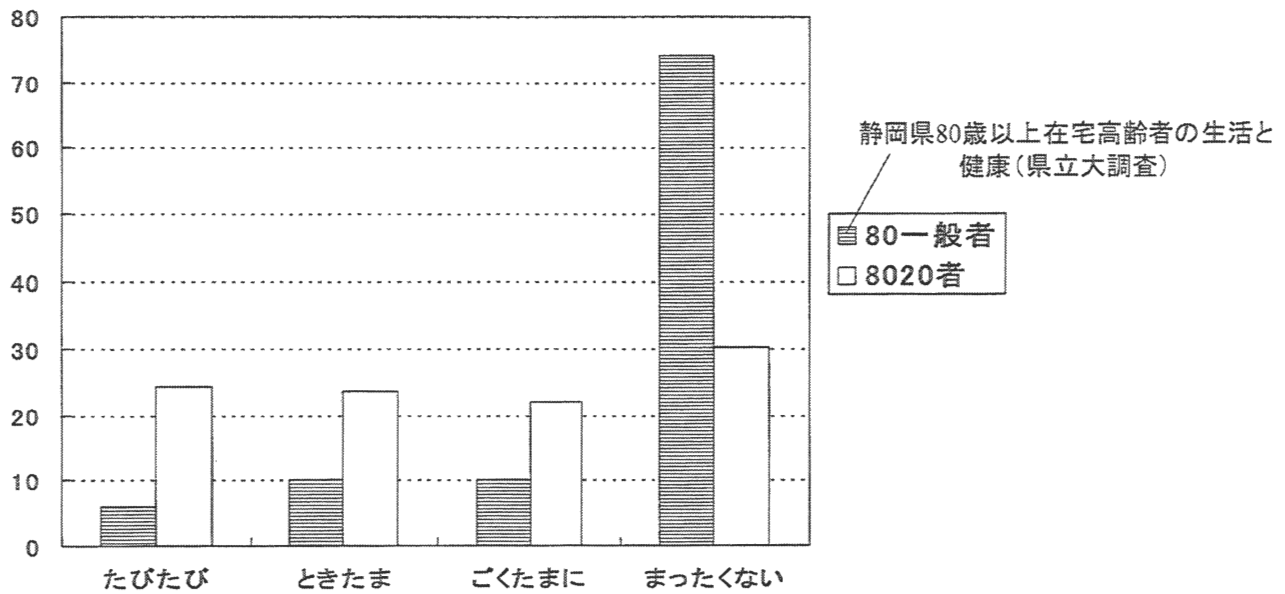
歯周疾患の進行

根面う蝕の多発、歯の咬耗・摩耗の進行

歯の欠損の増加

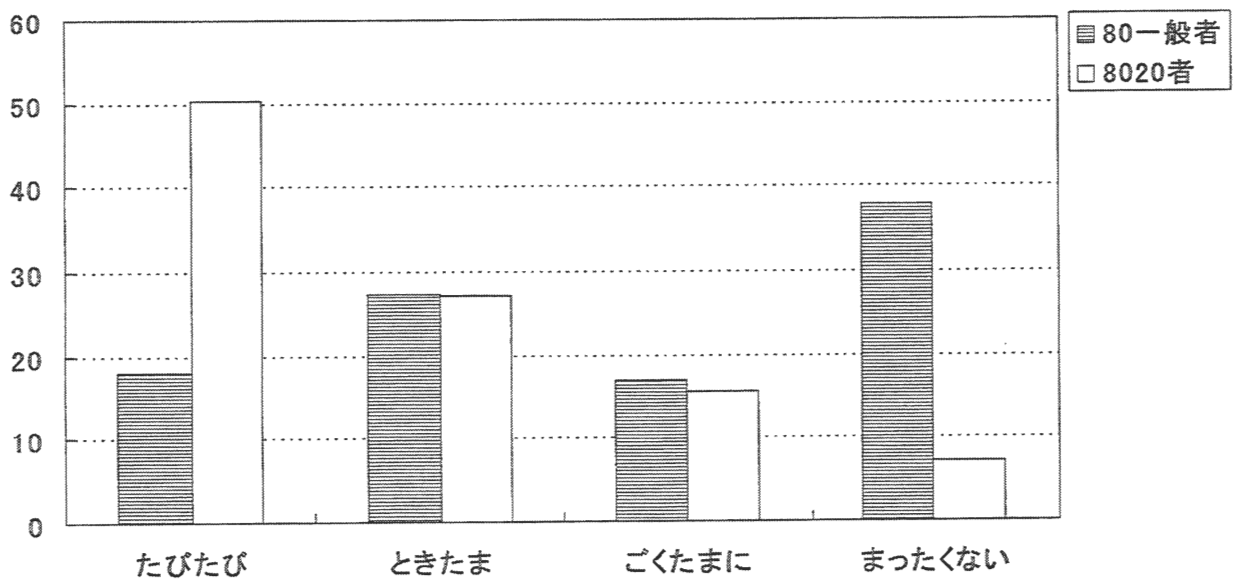
資料2①

手紙を書くか？



	たびたび	ときたま	ごくたまに	まったくなくい
80一般者	5.9	10	10	74
8020者	24.2	23.5	21.9	30.3

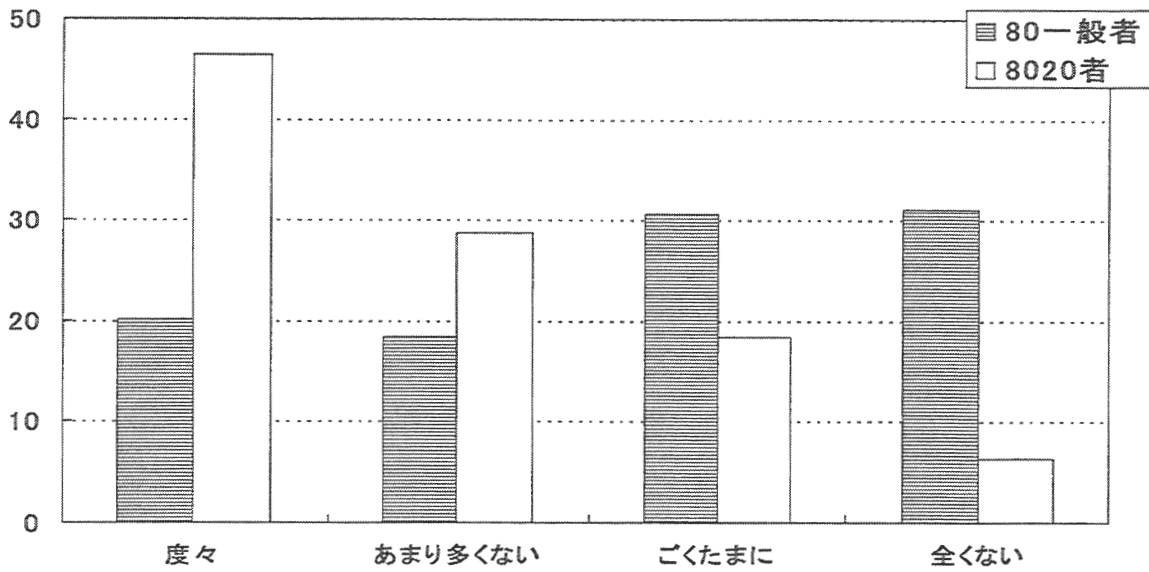
電話をかけるか？



	たびたび	ときたま	ごくたまに	まったくなくい
80一般者	18	27.4	16.9	37.7
8020者	50.3	27.1	15.5	7.1

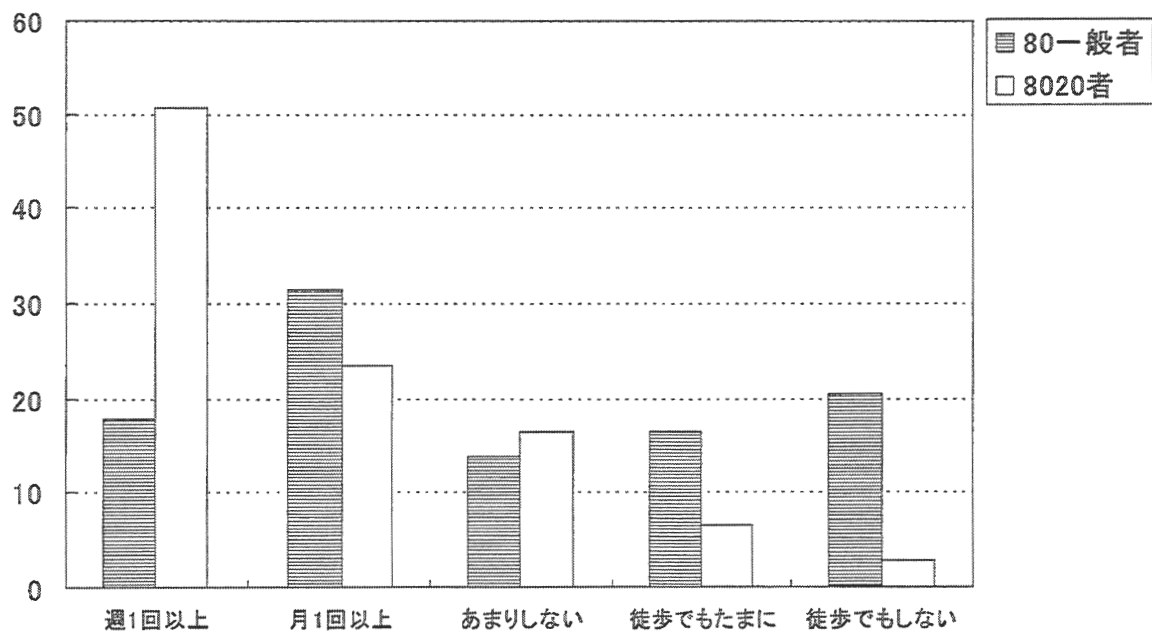
資料2②

親しい人をたずねていくか？



	度々	あまり多くない	ごくたまに	全くない
80一般者	20.1	18.3	30.6	31.1
8020者	46.5	28.8	18.4	6.3

乗り物で外出するか？



	週1回以上	月1回以上	あまりしない	徒歩でもたまに	徒歩でもしない
80一般者	17.8	31.5	13.7	16.4	20.5
8020者	50.6	23.5	16.5	6.5	2.9